

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	ねばりっこ10a、ながいも40a、らっきょう30a、すいか(ハウス)30a、すいか(トンネル)20a、ミニトマト30a
自家労働	3人
その他	ながいもは、集荷場で選別を行う。一部は貯蔵庫で貯蔵して、周年にわたって計画出荷する。

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目 (ムコ→種芋)					○~○	——							□□□□□□□□
2年目 (種芋→成芋)					◎~◎	——							□□□□□□□□
3年目		□□□□□□□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、∩トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (f)×(G)×利子率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,150,000	6	195,300	195,300	15	13,020	8	91,140	100	3,646
トラクタ	4WD 25ps	1 台	2,016,000	6	126,000	126,000	7	18,000	4	54,000	20	432
ロータリ	160cm	1 台	400,050	6	25,003	25,003	7	3,572	4	10,716	20	86
堀取り機(トレンチャー)	チェーン式	0.25 台	315,000	20	63,000	63,000	7	9,000	4	27,000	100	1,080
土壌消毒機	6条	1 台	317,000	6	19,813	19,813	7	2,830	4	8,491	100	340
管理機	3.5ps	1 台	161,490	6	10,093	10,093	7	1,442	4	4,326	100	173
動力噴霧機	可搬式6ps	1 台	158,550	6	9,909	9,909	7	1,416	4	4,247	100	170
深耕機(トラクターアタッチ)	2条	1.00 台	840,000	20	168,000	168,000	7	24,000	4	72,000	100	2,880
運搬車		1 台	424,200	6	26,513	26,513	7	3,788	4	11,363	100	455
普通トラック	1.5t	1 台	2,230,000	6	139,375	139,375	5	27,875	3	55,750	100	2,230
軽トラック	660cc	1 台	850,000	6	53,125	53,125	4	13,281	2	26,563	100	1,063
合計			10,862,290		836,131	836,131		118,224		365,594		12,553

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
ながいも	ねばりっこ	露地	3,200kg	砂丘地	10a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				燃 料 消費量 (ℓ/10a)	
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			
						機械利 用時間	組 員	延労働 時 間	
種芋圃場 (0.45a) 深耕・耕耘	3/上～3/中	稲わら	90kg	ドリルローター トラクタ ロータリ わらかッター 管理機	土壌改良といもの伸長促進のため、 深耕・耕耘する。	1.8 0.6 0.6	1 1 1	1.8 0.6 0.6	軽油 8.1 軽油 3.9 ガソリン 4.0
土 壌 消 毒	3/中	クロールピクリン D-D ポリマルチ	4.5ℓ 3ℓ	土壌消毒機 トラクタ	○土壌消毒は処理後すぐに被覆する。 ガスが抜けないうちに、ホリで被覆。 (ポリマルチを反転させて処理) ○ガス抜きを兼ねて基肥を全面施用。	0.6 0.2	1 2	0.6 0.9	ガソリン 0.6 軽油 1.0
基 肥 施 用	4/上	ミネラル宝素 セルカフレンド I B S 1号	9kg 15kg 6kg	トラクタ ロータリ	○ガス抜き耕耘は2回以上丁寧に行う。	1.2	1	1.8	軽油 5.4
植 え 付 け	4/下	ムカゴ フォース粒剤 アトマイト-1粒剤	10,000粒 0.6kg 0.6kg	人力	○畦幅75～80cm、条間5cm、株間4cm 3条植え(75粒/うねm) ○植え付け時にフォース粒剤、アトマイト-1 粒剤を施用する。	0.6	1 3 1	2.0 1.2 0.2	
支 柱、ネ ッ ト	5/上	コンポーズパイプ 支柱 ハリコード黒 ながいもネット	10本 150本 300m 150m	人力	○出芽前に支柱をたて、ネットを張る		2	3.0	
灌 水					○芽焼け防止のため、乾燥しないよう灌 水。降雨時には灌水を控える。 ○夏期の乾燥時には積極的に灌水する		1	0.3	
追 肥	5/中～8/下	I B S 1号 くみあいセラム有機 磷加安F886号	4.5kg 27kg 12kg	人力	○5月中旬に芽出し肥を施用し、6月中 旬から9回に分けて追肥を行う。 ○追肥は9月上旬で終了する。		1 1	0.3 1.8	
防 除	6/上～9/上	ダコニール1000 ストロブ-フロアブル バルク-フロアブル コロマイト乳剤 アタブロン乳剤 トレボン乳剤 デルフィン顆粒水和剤 コテツフロアブル ジマンダイセン水和 バイジット粒剤	90ml 22.5ml 45ml 45ml 22.5ml 90ml 45g 45ml 225g 2.7kg	動力噴霧機 軽トラック 人力	○発生予察にもとづき、早期防除の徹 底を図る。 ○梅雨明け後の病害虫の発生に注意し 茎葉の維持に努める。	3.2	2 3	3.7 0.9	ガソリン 3.2
収 穫・保 存	1/上～			堀取り機 運搬車 軽トラック	○収穫後、各生産者で保存 子いも4,600個	13.5 1.5 1.5	3	2.0 0.2 0.2	ガソリン 27.0 ガソリン 3.0 ガソリン 3.0
後 片 づ け	2/下			運搬車 軽トラック		2.0 2.0	2	0.3 0.3	ガソリン 0.6 ガソリン 0.6

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (%/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
本圃 (9.55a)									
深耕・耕耘	3/上～3/中	稲わら	600kg	トラクター ロータリ わらカッター	○土壤改良といもの伸長促進のため、 深耕・耕耘する。	12.0 4.0 4.0	1 1 1	12.0 4.0 4.0	軽油 54.0 軽油 26.0 ガソリン 4.0
土 壤 消 毒	3/中	クロールピクリン D-D ポリマルチ	30% 20%	管理機 土壤消毒機 トラクタ	○土壤消毒は処理後すぐに被覆する。 ガスが抜けないうちに、ポリで被覆。 (ポリマルチを反転させて処理) ○ガス抜きを兼ねて基肥を全面施用。	5.0 1.0	1 2	5.0 6.0	ガソリン 5.0 軽油 6.5
基 肥 施 用	4/上	ミネラル宝素 セルカフレンド I B S 1 号	60kg 100kg 40kg	トラクタ ロータリ	○ガス抜き耕耘は2回以上丁寧に行う。	8.0	1	12.0	軽油 36.0
種 芋 処 理	4/中	種芋 ベルコートフロアブル ベンレート水和剤	800kg 500ml 500g	人力 人力	○種芋の保管は風通しの良い場所を選ぶ。 ○大きさ別に選別、芽なしを取り除く ○ベルコート200倍とベンレートT100倍 液に10分間浸漬し、乾燥後に 植え付ける。		2 2	20.0 16.0	
植 え 付 け	4/下	フォース粒剤 アトマイヤー-1粒剤 ネマトリエース粒剤	4kg 4kg 20kg	管理機 人力	○畦幅75～80cm、株間27～30cm、 10a 当たり4,400株、覆土10cm。 ○植え付け時にフォース粒剤、アトマイヤー-1 粒剤、ネマトリエース粒剤を施用する。	4.0	1 3 1	8.0 8.0 1.0	ガソリン 4.0
支 柱 た て	5/上	支柱 P-Pロープ	2,760本 2巻	人力	○支柱をたて、P-Pロープをはる。		2	20.0	
栽培管理 つる管理	5/中～7/中 6～7			人力	○つるが支柱とひもに巻き付くように 誘引する。		1	12.0	
灌 水					○萌芽安定のため、乾燥しないよう灌 水。降雨時には灌水を控える。 ○夏期の乾燥時には積極的に灌水する		1	2.0	
追 肥	5/中～8/下	I B S 1 号 くみあいセラム有機 燐加安F886号	30kg 180kg 80kg	人力	○5月中旬に芽出し肥を施用し、6月上 旬から9回に分けて追肥を行う。 ○追肥は8月下旬で終了する。		1 1	2.0 12.0	
防 除	6/上～9/上	ガコニール1000 ストロピーフロアブル ジマンダイセン水和剤 ベルコートフロアブル コロマイト乳剤 アタブロン乳剤 トレボン乳剤 デルフィン顆粒水和剤 コテツフロアブル バイジット粒剤	600ml 150ml 1500g 300g 300ml 150ml 600ml 300g 300ml 18kg	動力噴霧機 軽トラック 人力	○発生予察にもとづき、早期防除の徹 底を図る。 ○梅雨明け後の病害虫の発生に注意し 茎葉の維持に努める。	21.0	2 3 2	24.0 6.0 3.0	ガソリン 21.0
収穫調製	10/中～2/中	ダンボール おがくず テープ	堀取り機	運搬車 軽トラック	○計画的に堀り取りを行う。 ○集荷場に持ち込み、洗い、選別、箱 詰作業を行う。	90.0 10.0 10.0	3	95.0	ガソリン 180 ガソリン 20.0 ガソリン 20.0
後片づけ	2/下			運搬車 軽トラック		2.0 2.0	2	4.0	ガソリン 4.0 ガソリン 4.0
合 計									

5 経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,324,800	生産量① : 3,200 kg 単価② : 414 円/kg	
	主産物価額	0	生産量 :	
	主産物価額	0	生産量 :	
	副産物価額④	54,800	増殖用 ^{ムカゴ} 頂芽 生産量 : 10000 粒 600 本 単価 : 5 円/粒 8 円/本	
	計 (A)	1,379,600		
生産	種 苗 費	150,733	種芋(1年子) 4,600本の生産原価(内4000本は子いも、600本は頂芽(約1割))	
	肥 料 費	62,608	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	116,109	〃	
	諸 材 料 費	57,072	〃	
	動力光熱費	69,430		
	農 具 費	25,813	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	1,953	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	0		
	雇 用 労 賃	8,320		
	減価償却費⑤	118,224	別表のとおり	
	土地改良費	4,063		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	614,324		
費	販売費一般	出荷資材費	56,320	
	管理費	販 売 諸 費	304,224	
		諸税負担金	11,416	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	3,475	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	1,035	借入資本利率2%
		小計 (C)	376,471	
経 営 費 (D)	990,795	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	390,650	農 従 労 働 時 間 : 295.6 生産管理労働時間 4.9 1,300 円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	1,326,645	主産物単位当たり 415 円/kg 注 (E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本	流動資本利子⑨	24,148	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
	利子(F)	固定資本利子	12,553 利率4%	
自 作 地 地 代 (G)	12,188			
全算入生産費 (H)	1,375,533	生産物単位当たり 430 円/kg 注) (H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	388,805	時間当たり 1,294 円 注) (I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	28	注) (J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-50,733	注) (K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	339,917	時間当たり 1,131 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-1,845	注) (M) = (I) - ⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
種芋栽培管理	2.4					0.6	2.4	3.0		1.8		3.4	3.3	0.3		0.2	1.0	0.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.2	0.8												24.0
深耕・耕耘							8.0	12.0																													20.0
土壌消毒							17.0																														17.0
種芋準備										20.0																											20.0
種芋消毒										16.0																											16.0
基肥施用										12.0																											12.0
植え付け												17.0																									17.0
支柱立て												10.0	10.0																								20.0
栽培管理													2.0		4.0	4.0		4.0		4.0																	14.0
追肥													1.0		1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0												14.0	
防除															1.0	2.0	4.0	4.0	4.0		6.0	6.0	6.0												33.0		
収穫・調製	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0																						5.0	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	95.0	
後片づけ						4.0																														4.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
																																				0.0	
計	7.4	5.0	5.0	5.0	5.0	4.6	10.4	32.0	0.0	13.8	36.0	20.4	13.3	13.3	0.0	5.2	2.0	8.2	6.9	9.9	6.9	2.9	8.8	7.2	6.8	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	306.0